

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東 近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 131,400 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和8年4月1日現在

○事業の実施状況

令和7年度下半期の処理水量（流入水量）は73,610千m³で、前年度同期に比べ86千m³、0.1%の減少となりました。

なお、令和7年度の各処理区の処理水量（流入水量）は、次のとおりです。

（単位：千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
上半期分	48,391	8,002	19,448	2,516	78,357
下半期分	45,040	7,199	18,981	2,390	73,610
合計	93,431	15,201	38,429	4,906	151,967

○建設事業の状況

令和7年度下半期は、浄化センターにおける水処理施設の増設工事および改築更新工事、耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を上半期に引き続き実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和7年11月定例会議において、給与費の増加により事業費用を9,552千円、企業債の増加により資本的収入を5,400千円、給与費の増加により資本的支出を5,400千円それぞれ増額補正しました。また、物価高騰分に充当するための補助金収入として、事業収益を752,123千円増額補正しました。

令和8年2月定例会議において、維持管理負担金の減少等により事業収益を104,445千円減額補正し、減価償却費の増加等により事業費用を132,487千円増額補正しました。また、企業債の減少等により資本的収入を3,797,630千円、工事費の減少等により資本的支出を4,320,744千円それぞれ減額補正しました。

○令和7年度予算の執行状況

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,431,600	—	647,678	21,079,278	21,009,168	99.7
営業収益	9,119,786	—	△ 269,277	8,850,509	8,777,920	99.2
営業外収益	11,311,814	—	916,955	12,228,769	12,231,248	100.0
琵琶湖流域下水道事業費用	21,651,100	—	142,039	21,793,139	21,283,126	97.7
営業費用	21,131,461	—	33,216	21,164,677	20,809,414	98.3
営業外費用	519,639	—	108,823	628,462	473,712	75.4

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	16,970,000	5,718,196	△ 3,792,230	18,895,966	12,580,884	66.6
企業債	3,950,100	1,405,700	△ 829,400	4,526,400	3,001,800	66.3
出資金	851,874	—	△ 44,886	806,988	809,749	100.3
補助金	9,245,403	4,312,496	△ 2,221,396	11,336,503	6,543,009	57.7
負担金	2,922,123	—	△ 696,148	2,225,975	2,225,726	100.0
その他資本的収入	500	—	△ 400	100	600	600.0
資本的支出	19,754,700	9,212,490	△ 4,315,344	24,651,846	14,575,321	59.1
建設改良費	15,327,051	9,212,490	△ 3,731,754	20,807,787	10,731,271	51.6
企業債償還金	3,770,775	—	—	3,770,775	3,770,767	100.0
返還金	656,874	—	△ 583,590	73,284	73,283	100.0

(注) 1 補正予算額は、令和7年11月定例会議および令和8年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

令和8年3月31日現在の企業債の現在高は、42,684,119千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、物価高騰分に充当するための補助金収入の増加等により、対前年度比 2.1%増の 20,165,094 千円となりました。一方、事業費用は、減価償却費の減少等により、対前年度比 0.4%減の 20,609,539 千円となりました。この結果、純損失は 444,445 千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和7年度(A)	令和6年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,165,094	19,746,242	418,852	102.1
営 業 収 益	7,990,409	7,952,370	38,039	100.5
営 業 外 収 益	12,174,685	11,793,872	380,813	103.2
琵琶湖流域下水道事業費用	20,609,539	20,689,683	△80,144	99.6
営 業 費 用	19,991,071	20,087,736	△96,665	99.5
営 業 外 費 用	618,468	601,947	16,521	102.7
当年度純利益(△は損失)	△ 444,445	△ 943,441	498,996	47.1

②財務状況

令和7年度末の総資産は 267,549,683 千円、負債は 245,574,820 千円となり、資本は 21,974,863 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和7年度	令和6年度	比較増減	科 目	令和7年度	令和6年度	比較増減
固定資産	254,636,817	256,031,909	△ 1,395,092	固定負債	39,965,397	40,794,521	△ 829,124
流動資産	12,912,866	14,444,561	△ 1,531,695	流動負債	13,982,309	15,236,731	△ 1,254,422
				繰延収益	191,627,114	192,835,659	△ 1,208,545
				負債合計	245,574,820	248,866,911	△ 3,292,091
				資本金	6,115,438	5,305,689	809,749
				剰余金	15,859,425	16,303,870	△ 444,445
				資本合計	21,974,863	21,609,559	365,304
合計	267,549,683	270,476,470	△ 2,926,787	合計	267,549,683	270,476,470	△ 2,926,787

(3) 令和8年度の事業および予算の概要

琵琶湖をはじめとする公共水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現するため、本年度は4処理区あわせて157,671千m³の汚水を処理する予定としています。

また、管渠の整備工事や、各浄化センター等における設備の改築更新工事、耐震補強工事等を行うこととしています。

○令和8年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
琵琶湖流域下水道事業収益		23,981,000
	営業収益	10,401,709
	営業外収益	12,713,291
	特別利益	866,000
琵琶湖流域下水道事業費用		23,128,600
	営業費用	22,592,125
	営業外費用	536,475

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		20,898,300
	企業債	4,956,000
	出資金	488,570
	補助金	11,844,155
	負担金	3,608,575
	その他資本的収入	1,000
資本的支出		23,093,800
	建設改良費	19,305,918
	企業債償還金	3,787,882

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。